

千倉地区学校再編検討委員会の検討状況について

○第1回会議

期日 令和3年6月25日 場所 千倉保健センター

出席委員 18名 欠席委員 1名 傍聴人 1名

概要

地区学校再編検討委員会設置要綱、千倉地区小中学校の現状と今後の推進体制、学校再編に係る協議・検討事項等について説明した。

○第2回会議

期日 令和3年7月30日 場所 千倉保健センター

出席委員 19名 欠席委員 0名 傍聴人 なし

概要

千倉地区の中学校再編案を市が提案し、再編案のとおり千倉中学校と白浜中学校の統合について、議論を進めていくことになった。

また、千倉地区の中学校再編についての保護者説明会及び地区説明会を開催していくことになった。

○第3回会議

期日 令和3年10月29日 場所 千倉保健センター

出席委員 19名 欠席委員 0名 傍聴人 なし

概要

保護者説明会を11月下旬から12月中旬までの期間に、地区説明会を令和4年2月中に、それぞれ4会場で開催することになった。

○千倉地区学校再編に関する保護者説明会（千倉小学校・千倉中学校の保護者対象）

期日	場所	出席委員	欠席委員	参加者
令和3年12月9日	千倉七浦体育館	16名	3名	10名
令和3年12月14日	千倉忽戸体育館	16名	3名	3名
令和3年12月15日	千倉子ども園体育館	16名	3名	6名
令和3年12月20日	千倉小学校体育館	17名	2名	20名

参加者計 39名

概要

千倉地区の中学校再編及び千倉地区の中学校の現状について説明したところ、千倉中学校と白浜中学校の統合について、特に反対意見は無かった。

○第4回会議

期日 令和4年1月18日 場所 千倉保健センター

出席委員 16名 欠席委員 3名 傍聴人 なし

概要

保護者説明会の概要について説明した。

また、地区説明会を2月14日、15日、24日、25日に行うことになった。

○千倉地区学校再編に関する地区説明会（千倉地区の住民対象）

※2月に4回開催する予定であった地区説明会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、延期することになった（延期後の開催日程は、未定）。

○今後の予定

3月23日に第5回会議を開催し、来年度に千倉地区の住民を対象とした地区説明会を開催後、千倉地区学校再編検討委員会として、統合についての最終的な結論が出たら、白浜地区及び千倉地区学校再編検討委員会の合同会議を開催し、学校の再編時期、学校の位置、学校の名称に関する事項について、協議・検討することになる。

千倉地区学校再編検討委員会・保護者説明会での主な質疑回答

◆統合の時期について

Q1：統合の時期は？

A1：千倉地区学校再編検討委員会の結論が出て、白浜地区及び千倉地区学校再編検討委員会の合同会議が1、2年は必要ではないかと考えています。

◆統合後の学校の位置等について

Q2：統合中学校の校舎が、千倉中学校と白浜中学校のどちらになるのか、まだ決まっていないのでしょうか？

A2：統合中学校の位置や使用する校舎については、千倉地区学校再編検討委員会で統合についての結論が出てから、白浜地区及び千倉地区学校再編検討委員会の合同会議の中で話し合っていくことになります。

Q3：校舎の立地条件について、最近の災害などを考えたとき、より安全な方が良いと考えますので、そういった視点も考慮していただきたいです。

A3：白浜地区及び千倉地区学校再編検討委員会の合同会議の中で、安全性も含めていくつかの観点で提案させていただきたいと考えています。

Q 4：統合中学校の位置や学校名は、両地区の学校再編検討委員会による合同会議で決めることになっているが、その会議で学校の位置や学校名に反対する保護者が多かった場合はどうなりますか？

A 4：合同会議で結論が出るまで協議をお願いすることになります。嶺南小学校の時も、かなりの回数を議論していただき、最後は、子どもたちの学校生活にとって、どこが良いだろうという視点で合意をいただきました。

Q 5：統合中学校は、既存の千倉中学校、白浜中学校を使うのか、新設になるのか、明示しておいた方が良いと思いますか？

A 5：合同会議で御提案をさせていただきたいと思います。この場では、子どもたちの環境、学習環境、生活環境を良くするには、どういう規模が良いかに重点を置き、議論をお願いします。

◆他の中学校との統合について

Q 6：統合時に生徒数が200人を超えても、6、7年経つと200人を割るようになりますが、その時は、また他校との統合の可能性あるのでしょうか？

A 6：人数だけで学校統合を考えることは、難しいと考えます。通学もスクールバスで30分程度を上限と考えています。それ以上通学時間が長くなると、子どもたちの学校生活、朝の問題、放課後の問題等に支障出てきます。統合には、人数だけでなく、学校生活の時間、通学時間等を加味しなければならないと考えています。

Q 7：今回の統合の話は、白浜中学校の生徒数の減少が顕著だから、千倉中学校と統合させ、その次は、また考えよう的に思えます。それならば、外房4地区の中学校を統合し、現在の嶺南中学校よりもう少し白浜側に統合中学校を設立することに協議を移す方が良いのではないのでしょうか？

A 7：学校の統合を考える場合、生徒の人数だけでなく、通学時間や通学距離など子どもたちの学校生活の時間を加味しなければいけないと考えます。

ただ、千倉地区で、2校での統合はしない。もっと広範囲で考えるべきであるとの結論が出た場合、白浜地区に意見を伺い、同じような、もっと広範囲で考えるべきであるとの結論にいたれば、その時点で、また考えたいと思います。

◆統合しないという結論になった場合について

Q 8：千倉地区で、白浜中学校と統合はしないという結論が出た場合は？

A 8：その場合は、もう一度、白浜中学校の統合のありようについて、白浜地区の皆様にご提案することになります。

◆統合の方法（対等か吸収か）について

Q 9：白浜中学校の生徒数が少なくなったことにより、千倉中学校と統合したいという話だと思いますが、吸収合併ではなく対等な統合ということですか？

A 9：生徒数で言えば、白浜地区から切実な問題として出されています。ただし、数年後には、千倉中学校も同様な問題となりますので、抱えている問題は同じだと考えています。過去十数年間の小・中学校の統合では、対等や吸収といった表現はしておらず、「両校が一緒になる」などの表現をしてきました。

◆小学校の統合について

Q 10：小学校の統合についても、一緒に議論すべきではないでしょうか？

A 10：白浜地区のPTA説明会で小学校もという声はありました。しかしながら、今は、中学校だけの統合を考えています。ただ、今後、再編検討委員会の協議の中で、両地区で小学校も統合していこうという結論に至れば、教育委員会は、それを拒否する立場ではないと御説明しました。

◆統合後の教員数について

Q 11：令和6年度の統合しない場合の千倉中学校の2年生は1クラス27名のクラスで中学校生活が過ごせますが、統合した場合は、1クラス37名となります。子どもたちに対する気配りが変わってくると思うので、統合後の先生を少し多めに配置していただけるとクラスが37名でも、子どもたちが学校生活に適応しやすいと考えます。

A 11：統合した場合は、正規の教員が多く配置されますので、1クラス37名などにならないよう、教育事務所や県にお願いしていきます。

学校においても、多く配置された教員を調整し、なるべく子どもたちの負担にならないように、特に統合初年度については、1クラスの人数が、極めて少ない人数になるような配慮をしながら、大事に過ごしていけるようにしたいと思っています。

◆部活動について

Q 12：部活動は、中学校を統合することにより増えることはありますか？

A 12：基本的には、統合中学校の校長が最終的に判断することになります。ただ、それほど生徒数が増えるわけではないので、現在の部活動とそれほど変わらずに維持していくということが、もっとも見込まれます。